

各委員からの修正等のご意見

	ご意見	対応案
<p>笠原委員</p>	<p>(全体的に) 県民には「3R」を知らない人もいることから、3Rという言葉をごどこかで説明する必要があります。 その際、Reduce を「廃棄物の発生抑制」といったように「廃棄物」を入れるべき。 「排出抑制」、「リユース」と使用されている例が多いが、英語または日本語に統一すべき。</p>	<p>最初の「3R」記載箇所(第1章第2の最後)に3Rの解説、日本語・英語の用語を追記 第3章第1の2つ目の を「リデュース(廃棄物の排出抑制)」に修正 各3Rを指す使用用語は、上記箇所での説明後、英語(カタカナ)を使用し、必要に応じて日本語を添え書き記載する。</p>
	<p>(次の箇所を解りやすく修正) 第3章第1基本方針の 2つ目 「これまでの取組では、リサイクルが普及し定着してきたが、今後は、本来の優先すべきリデュース(排出抑制)やリユース(再使用)の取組の裾野を広げていく必要があり、温室効果ガスの低減が図れる廃棄物の3R取組のステップアップを進めるべきである。」を 「これまでの取組で、リサイクルが定着してきたが、今後は、リサイクルに先立ち優先すべきリデュース(廃棄物の排出抑制)やリユース(再使用)の取組の裾野を広げていく必要があり、温室効果ガスの低減が図れる廃棄物の3R取組にさらに力を入れる(または強化)べきである。」</p>	<p>ご指摘箇所を、 「<u>これまでの取組では、リサイクル(再生利用)が普及も定着してきたが、今後は、リサイクルに先立ち本来の優先すべきリデュース(廃棄物の排出抑制)やリユース(再使用)の取組の裾野を広げていく必要があり、温室効果ガスの削減低減が図れる廃棄物の3R取組の強化(ステップアップ)を進めるべきである。</u>」に修正</p>
	<p>第3章第1基本方針の「今後の方向性」 「廃棄物の排出抑制に重点をおく3R取組のステップアップにより持続可能な滋賀社会づくりを進める」を 「廃棄物の排出抑制に重点をおく3R取組の強化により、持続可能な滋賀社会づくりを進める」</p>	<p>ご指摘箇所は、上記修正で説明(3R取組の強化(ステップアップ))と修正した上で、原案のままをしたい</p>
	<p>第3章第1基本方針の「3つの基本方針」の1つ目 「日常生活や事業活動を省資源・循環型にさらに転換し、出してからではなく出る前での廃棄物の減量を進める排出抑制やリユースを促進する」を 「日常生活や事業活動を、さらに省資源・循環型に転換し、廃棄物として出される前に、廃棄物の減量化につながるリデュースやリユースを促進する」</p>	<p>ご指摘箇所を、 「日常生活や事業活動をさらに省資源・循環型にさらに転換し、出してからではなく出る前での廃棄物の減量を進める<u>リデュース(排出抑制)やリユース(再使用)</u>を促進する」に修正</p>

	<p>第3章第1基本方針の「3つの基本方針」の2つ目 「温室効果ガスの低減を図る3R取組を促進する」を 「温室効果ガスの低減化にもつながることから3Rの取組を促進する」 (注：原案では、「低減を図れるものの3R」と「3Rは全て低減に繋がる」との二つの解釈ができる)</p>	<p>ご指摘の箇所を、 「<u>温室効果ガスの削減につなげるため、3R取組とりわけリデュースや省エネ・熱利用型の処理低減を図る3R取組を促進する</u>」に修正</p>
<p>川地委員</p>	<p>第3章第1「基本方針」 温室効果ガスの低減は「削減」の方が主体的ではないか。</p> <hr/> <p>第3章第2「計画の目標」基本方針1・2の最初の部分文章を次のように変更 「一般廃棄物について、県民による排出抑制・リユース等の取組みが一層促進されるよう、県や市町では、そのための取組み手法やごみ減量・温室効果ガスの削減等についての情報を提供する。また、これらの情報が広く活用されるよう情報交換・経験交流の場を設ける。」</p> <hr/> <p>第4章第1「3R推進の取組み」3つ目の(リユースの推進など)について、もう少し具体的な取組みが記述できないか。</p>	<p>第3章第1「基本方針」中の該当箇所について、 「<u>温室効果ガスの低減削減</u>」に修正</p> <hr/> <p>ご指摘箇所を、 「<u>一般廃棄物について、県民によるリデュース排出抑制・リユース等の取組を一層促進するため、県や市町では、その取組手法やごみ減量・温室効果ガスの削減等の効果についての情報を提供。また、県や市町が催す様々な機会を通じてこれらの情報を広く活用するとともに、市町や減量推進員等の活動における情報の利用を図る</u>」に修正</p> <hr/> <p>ご指摘箇所を、第1の1つ目に上げ、 「<u>3R取組を強化のステップアップを進めるため、市町等関係機関と連携して、廃棄物の減量に関する情報を温暖化対策とも関連づけて分かりやすく発信する「見える化」を進める。この中で、特にリユース(再使用)を促進するため先進的な事例の紹介や不要物の交換・譲渡等の機会拡大に取り組む。廃棄物の減量や温室効果ガスの削減等の効果、先進事例などの情報の「見える化」を、市町等関係機関と連携して進める。</u>」に修正</p>
<p>中村委員</p>	<p>第3章第2の<減量の目標> 「産業廃棄物」最終処分目標値 9.5万tは良いと思いますが、今までの、事業者によるゼロ・エミッションなどの取組推進に対する整合性と、継続性について、どこかの事項で、説明が必要ではないか。</p>	<p>第3章第2「計画の目標」<減量の目標>の産廃指標設定の理由記述箇所を、 「<u>産業廃棄物については、これまでの事業者によるゼロ・エミッションの取組による高い再生利用等の現状を維持しつつ、3R取組の強化ステップアップにより減量を進めることが今後とも大切であり、その取組の効果を表す代表的な指標として、「最終処分量」を目標に設定する。</u>」と修正</p>